

# 株コメ兵ホールディングス

【所在地】〒460-0011 名古屋市中区大須3-25-31 Tel.052-242-0228

【代表者名】石原 卓児

【資本金】18億378万円

【売上高】711億4800万円(22年3月期)

## 22年3月期はグループ全体で 新たに37店を展開

株コメ兵ホールディングスはリユース業(中古品買取・販売)を営んでおり、2022年3月期の連結業績は、売上高が前期比40.3%増の711億4800万円、営業利益は同529.1%増の37億1400万円となった。22年3月期はブランド・ファッション事業において、「KOMEHYO」の買取専門店を32店オープンし、年間30店舗以上の出店目標を達成した。そのほかにも、株コメ兵のスニーカー専門店「SNEAKER MARKET by KOMEHYO」や株K-ブランドオフで3店などを展開し、グループ全体の出店数は37店だった。

海外では、中国において上海梅龍鎮伊勢丹と上海高島屋の期間限定店舗を常設店舗にしたほか、LaLa station上海蓮花路にも新規出店し、グループ会社の米濱上海商貿有限公司は3店舗体制となった。期末の店舗数は国内と海外を合わせてグループで計137店となり、内訳としては「KOMEHYO」81店、「BRAND OFF」25店(うちFC2店)、「LINK SMILE」と「USED MARKET」で計8店、「Shellmon」7店、「WORM」2店とタイヤ・ホイール事業の店舗14店となっている。

## 東京都の銀座エリアで多店舗化

今後も年間30店舗以上、3年間で100店舗の買取専門店の出店を計画しており、売り上げについても1店舗で個人買取額目標を年間1億円とし、年間30億円を積み増す予定だ。

出店立地においては、東京都の銀座を重要なエリアと位置づけ、グループで多店舗展開し、顧客との接点を広げる。2022年6月下旬に「KOMEHYO GINZA LIMITED」(東京都中央区)をオープンしたほか、同年9月上旬に「KOMEHYO GINZA PLUS」(東京都中央区)のオープン、同年10月上旬に「BRAND OFF 銀座本店」の移転、同年11月下旬に「(仮称) KOMEHYO 銀座店」のオープンを予定している。23年3月期の連結業績予想は、売上高が前期比9.6%増の780億円、営業利益が同1.8%増の37億8000万円、経常利益が同0.2%増の37億8000万円を見込んでいる。

また、コメ兵ホールディングスは中期経営計画を策定しており、25年3月期に売上高が1000億円、営業利益は55億円(営業利益率は5.5%)、経常利益は55億円、当期純利益は34億5000万円を掲げている。ブランド・ファッション事業の戦略としては、グループ

の資産を最大限活用し、リユース市場での影響力を拡大させていくとしており、①従来からのコアビジネスでの成長、②中古品の流通に関与し、市場の活性化につながるビジネスでの成長、③国内外の市場の成長に関与し、健全な市場の形成に寄与するビジネスでの成長、の3つを挙げている。①では国内市場では買取専門店出店の継続やライアンスの強化による買取チャネルの増加、デジタルを活用したシームレスな顧客接点作りと店舗再編による顧客体験価値の向上、アップサイクルによる中古品の価値向上に取り組む。海外市場では、各拠点での新規出店などによる買取・販売の強化、新規拠点の開発、海外拠点間の商品流通網形成に取り組む。②では、買取専門店のFC展開によるオークションへの出品数拡大、法人向けオークションの会員企業へのリユーステックやノウハウ、相場情報の提供、デジタルを活用し、法人向けオークションに参加する国内外の新規会員企業の獲得に取り組む。また、③ではSaaSによるリユース関連ビジネスの成長をサポートする事業、人材や教育システムの活用による新規参入企業などのサポート事業、データベースを活用した業務連携によるブランドリユース市場での成長を目指す。